



所在地：北海道函館市西桔梗町735番地4号
敷地面積：4,472.84㎡
建築面積：3,129.97㎡
構造規模：鉄筋コンクリート造2階建（耐火建築）
設置主体：医療法人やわらぎ会
設計：(株)岡田設計
施工：建築／(株)高木組
電気／(株)きんでん
開設：平成17年4月

家庭的な雰囲気であつろぎ感を高め、 より日常的なリハビリを可能にした介護老人保健施設の照明

■介護の必要な高齢者を温かく迎え入れる地域密着型の老人保健施設

この施設は高齢者1人ひとりの多様な生活スタイルを受け入れ、望ましい在宅、または施設生活が過ごせるようチームで支援するなど、利用者が自分らしく生きられる在宅復帰を目的とする介護老人保健施設です。そのため利用者に応じた支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供するなど、様々な面で自立支援サービスが行われています。施設は通所リハビリテーションエリアと短期入所療養介護のグループケアユニット8つで構成されています。グループケアユニットは、奥に光庭を配した多目的食堂を中心に談話室も設けられています。それを囲む形で個室が10室配置されており、グループ毎に小さな生活単位の「すまい」としての空間が形成されています。

ユニット内の照明は、多目的食堂においては団らんや食事など基本的な日常生活が過ごせる家庭的な雰囲気を創出するため、48W形+28W形環形蛍光灯ランプシーリングライト“ネオスリムV”2台を折り上げ天井に設置。薄形のため天井との一体感が得られていると同時に、天井面を明るくしながら室内全体に優しい明かりの広がり感を創り出しています。また在宅復帰を目的とした多様な生活リハビリ、小イベントに対応できるよう調光を可能にしています。グループケアユニット内の談話室には、電球形蛍光灯ランプ(22W形×4)シーリングライトと100Wタイプ電球形蛍光灯ランプダウンライトを組み合わせ、あつろぎ感を高めた照明環境としています。ユニット内の廊下(Hf32W×2埋込器具昼光色)に沿って配置されている個室は、外玄関及び壁面に60Wタイプ電球形蛍光灯ランプブラケットを設け、メリハリのある光色で入りやすい、親しみ感のある雰囲気を得ています。室内の照明は乳白アクリルのグローブで、器具全体が優しい光に輝くシーリングライト(40W形+32W形環形蛍光灯ランプ)を設置。室内に心地よい広がり感を生み、落ち着いた住空間を創出しています。

一方、通所リハビリテーションエリアの機能回復訓練室やデイ食堂等の照明は、主に昼白色(5000K)32WHf蛍光灯ランプ2灯用埋込器具を採用し、明るく活動的な室内環境としています。廊下では、歩行による機能回復訓練を兼ね備えたスペースとして利用されるため、ベース照明の他、柱及び壁面上部の両サイドに60W白熱灯ブラケットを設置し、ソフトな光でアクセントを付けています。

■照明コンセプト

Lighting design concept

●暖かみのある光色で基本的な日常生活が過ごせる家庭的なあつろぎ感を高めた照明環境の創出



グループケアユニット多目的食堂の照明：76W形環形蛍光灯ランプ“ネオスリムV”シーリングライト2台を設置



ユニット談話室の照明：電球形蛍光灯ランプのシーリングライトとダウンライトを採用



シーリングライト(72W形サークライン)を設置したユニット個室の照明



通所リハビリテーションエリア廊下の照明



通所リハビリテーションエリア機能回復訓練室の照明

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
グループケアユニット	シーリングライト	FVH-76510	16	48W形+28W形環形蛍光灯ランプ(ネオスリムZ)
		FPH-72800ZK	98	40W形+32W形環形蛍光灯ランプ
	ブラケット	BFG-4084Z	8	22W形電球形蛍光灯ランプ×4
	ブラケット	BFB-23801Z	49	21W電球形蛍光灯ランプ×2
通所リハビリテーションエリア、他	埋込器具	FHR-42848-PM9	222	32WHf蛍光灯ランプ×2
	ブラケット	IB-3250	10	60W白熱ランプ